

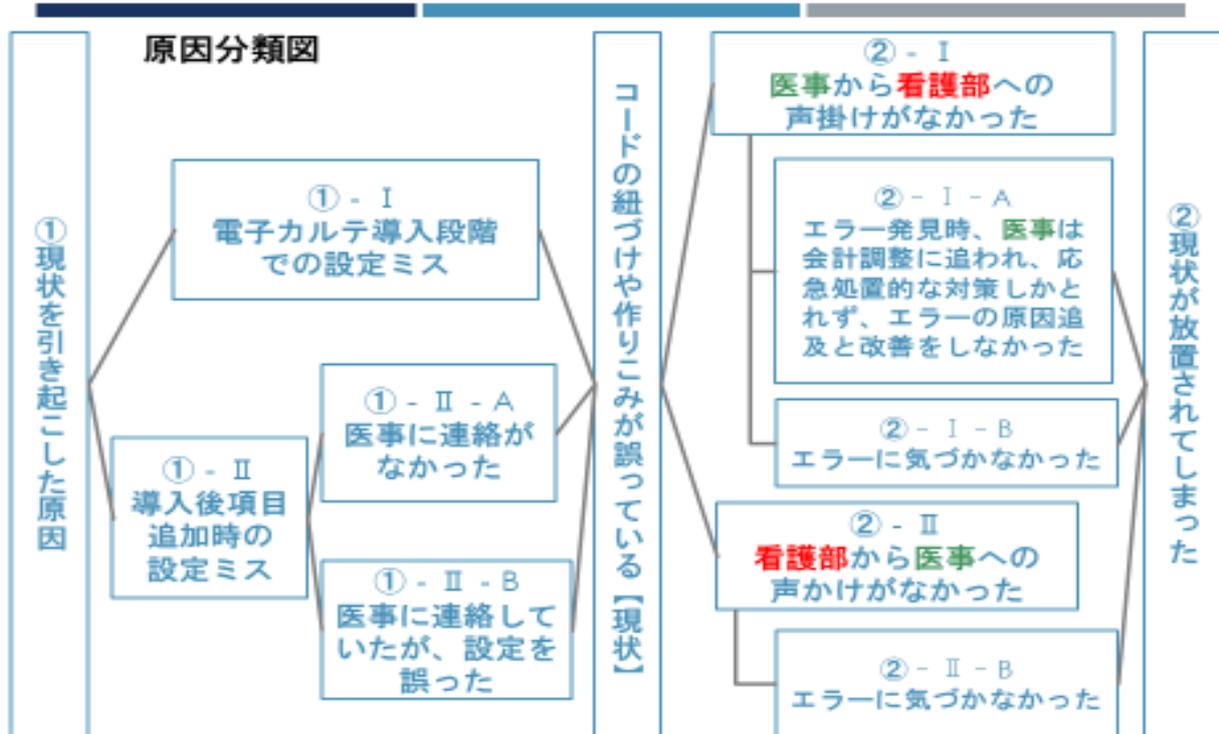
演題名	医療処置や材料コストの算定モレや入力誤りの防止		
施設名	石川島記念病院	発表者(職種)	おおの ゆたか 大野 由貴 (事務)
チーム名	電子カルテマスタ整備隊		
取り組種別	問題解決型		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
改善しようとした問題課題	電子カルテ上の看護処置実施画面が十分に整備されていなかったために、看護処置行為や材料コストの算定モレや誤った算定が常態化していた。		
改善の指標とその目標値	(指 標)①看護処置画面の作成に関するルールの有無 ②H29年7月時点で確認された誤りの内容の改善 (目標値)①看護処置画面の作成に関するルールの確立 ②H29年7月時点で確認された誤りの内容を100%修正		
実施した対策	①修正活動の継続 ②看護処置項目追加時の連絡フローの作成 ③看護処置項目追加時の注意事項の作成 ④エラー発見時の注意喚起方法の確立 ⑤医事と看護部で修正内容を共有		
改善指標の対策実施前後の変化	(実施前)看護処置画面の作成に関するルールが無かった (実施後)看護処置画面の作成に関するルールが設けられた		
歯止めと標準化	看護処置項目作成の標準化 医事と看護部で修正内容を共有		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ②複数の職場が連携した活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動	チーム メンバー (職種)	1 弓田 純子 看護師 2 大平 智子 看護師 3 小林 龍二 看護師 4 石井 晋平 事務 5 内田 牧子 事務 6 藤井 克彦 事務 7 大野 由貴 事務
活動の場 ※複数選択可	①診療部門 ②支援部門		
活動期間	平成 29 年 7 月 ~ 12月		
リーダー名 (職種)	大野 由貴 (事務)		
活動回数	5 回		

【現状把握】

電子カルテ上の看護処置画面の実施項目に誤った医事コードが紐づけされているか、もしくは紐づけされていない
 →誤請求や請求モレが常態化している可能性がある。
 →誤データが医事へ送られてくるたびに医事が手動で会計調整するため、業務が煩雑になっている。

【要因解析】

要因分析方法: 現在確認している誤りを参考に、その原因を分類
 ポイント: もれなくだぶりなく原因を分類することで、効果的な対策の立案



【目標設定】

いつまでに: 2018年1月までに
 なにをどのように:

- ①それぞれの原因に対してルールを設けて解消
- ②現時点で把握している誤りをすべて修正

【標準化と管理の定着】

医事と看護部で修正内容を共有 ⇒ チェック意識の向上

【反省と今後の進め方】

修正活動の継続的な実施。看護処置項目作成の標準化。

ステップ	良かった点	悪かった点
テーマ選定		技術的に難しい部分が多く、実効性が見積りが甘かった
現状把握	多くのエラーを検出できた	
目標設定		数値目標がなかった
要因解析	もれなくだぶりなく原因を分類できた	
対策の立案と実施	要因分析と整合性のとれた対策を実施できた	修正活動に優先順位がつけられなかった
効果の確認	売上に直結する有形効果を確認できた	
標準化と管理の定着	医事・看護部ともに協力的に情報共有できている	処置項目作成の標準化までは至らなかった